

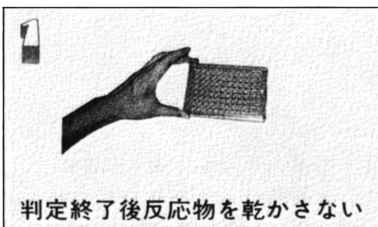
プレートウォッシャー

PLATE WASHER, MODEL MPW-200N



血清学的検査法としてのマイクロタイター法では、各種マイクロプレートが使用されますが、その多くは再使用されますので、検査終了後の洗浄操作が重要な要因として見直されてきています。

検査終了後のマイクロプレートを除菌液で殺菌後、洗浄液で洗浄したプレートに完全に洗浄液等を付着させないように、十分な水道水での洗浄及び精製水濯ぎが、再使用上欠かせない操作になっています。こうした洗浄操作を自動的に完全に行う装置がプレートウォッシャーMPW-200Nです。



1 判定終了後反応物を乾かさない



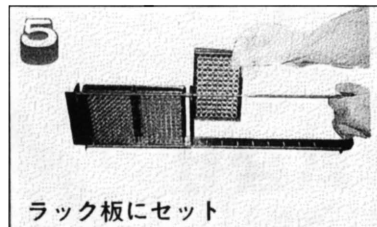
2 除菌液にすみやかに浸漬する



3 洗浄液に浸漬する



4 水道水予備洗浄



5 ラック板にセット

KC112 プレートウォッシャー MPW-200N

特 長

- 96、120穴のマイクロプレート（パーマネント、リジットタイプ）が一度に20枚自動洗浄できます。
- 洗浄工程は前処理（検査終了後の除菌操作）後、⇒水道水洗浄（Max30分）、⇒精製水洗浄（Max15分）と自動的に洗浄を行います。
- マイクロプレートの穴面や背面を同時に洗浄しますので、洗剤が背面に付着することがなく乾燥時での白い洗剤付着が認められません。
- マイクロプレートの穴の洗剤は穴中に完全に水道水が噴射洗浄する機構で、噴射ノズルが左右に移動して、洗浄液が下方に落下します。
- マイクロプレートの汚れに応じて、洗浄時間等の時間設定が可能で、水道水の無駄がありません。水道水が濁水状態になった場合には動作が停止し、水道水供給後再び作動しますので、マイクロプレート間の洗浄ムラがありません。
- 水道水供給時でのプレフィルターを装備して、噴射ノズルの詰まりを無くし効率の良いジェット噴射作用を保証します。

仕 様

コードNo.	KC112
使用可能プレート	96、120穴、U、V、Vメッシュ付マイクロプレート
洗浄枚数	1ラック5枚×4ラック 最大20枚（プレートラック収納式）
洗浄方式	噴射ノズル方式によるプレート穴への噴射及び背面噴射洗浄でのベルト左右移動（メインノズル 8本、背面ノズル 2本）
使用洗浄水	水道水 約10L/分（給水圧 2kg/cm ² ）、精製水 約6L/分
タイマーセット	水道水洗浄（0～30分）、精製水洗浄（0～15分）
洗浄水槽	塩ビ製
水道水タンク	ステンレス製（SUS-304） 20L
精製水タンク	ポリエチレン製 20L（外部設置）
外 装	本体〔鉄板塗装（防錆処理）〕、移動用キャスター装備
フィルター	プレフィルター PP-25型使用（ハウジングはIM-I型）
ポンプ	自吸式ポンプ使用
排水	ドレインコック装備
警報装置	水道水タンク下限、及び精製水タンク下限警報装置（ポンプ・ノズル停止機構）
外寸法	W600×D460×H1010mm
電 源	AC100V 50/60Hz 300VA（ブレーカー付）
重 量	約70kg
価 格	¥1,500,000

●器具の洗浄（マイクロプレート）

検査後プレート穴内の反応物を絶対に乾かさぬことが第一です。判定後はプレートテープを取り除き、速やかに次亜塩素酸ナトリウム剤（有効塩素濃度0.1～0.5%）に薄めた液中にプレートを上向きに（下向きですとプレート穴内に気泡が入り除菌が不完全）して24時間以上浸して下さい。除菌を終えたプレートは洗浄液に2～3時間浸します。続いて水道水でざっと予備洗浄後、プレートウォッシャーで約10分位各穴内外を充分洗浄します。

洗浄後は自然乾燥または37℃以下の温度で乾燥し、乾燥後はプレートを下向きにして穴面を伏せて保管して下さい。

※極端に洗浄時間が短いと、水温等の関係で洗浄能力がおちることがありますのでご注意ください。